

会計学原理Ⅰ

科目ナンバリング ACC-103
選択 2単位

金子 善行

1. 授業の概要(ねらい)

会計学の基礎を学習することで、今後、財務諸表論など会計学系統の講義への足掛かりとします。ビジネスの世界では、会計情報は共通言語として機能しています。会計の専門家を目指す学生はもちろん、そうでなくとも社会に出るにあたって、必要不可欠な知識の習得を目指します。

2. 授業の到達目標

一般社会における会計学の重要性を知るとともに、貸借対照表や損益計算書といった財務諸表の作り方・見方の基礎を理解できることを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

定期試験の成績を基準に総合的に判断します。

4. 教科書・参考文献

教科書

新田忠誓・佐々木隆志ほか 会計学・簿記入門 最新版 白桃書房

5. 準備学習の内容

予習は特に必要ありませんが、講義終了後、その都度、講義で取り扱った単元の問題の解き直しをしておくようにして下さい。

6. その他履修上の注意事項

講義には電卓を持参して下さい。日頃から携帯電話等を計算機として使用するのではなく、電卓を使用して計算問題を解くように心がけましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 会計の仕組み
- 【第3回】 社会と会計
- 【第4回】 現金出納帳の作成
- 【第5回】 現金出納帳と会計報告書
- 【第6回】 複式簿記の仕組み
- 【第7回】 複式簿記と会計報告書
- 【第8回】 会社の種類と株式会社の仕組み
- 【第9回】 会計公準と企業会計の計算(会社の設立)
- 【第10回】 企業会計の計算(営業取引)
- 【第11回】 企業会計の計算(簿記・会計の基本構造)
- 【第12回】 企業会計の計算(当期の収入・支出と当期の収益・費用の不一致)
- 【第13回】 企業会計の計算(損益計算書と貸借対照表の作成)
- 【第14回】 企業会計の計算(貸借対照表の示す「状態」)
- 【第15回】 講義のまとめ